

## 第 36 回熱電国際会議(ICT2017)助成事業のお知らせ

1. 目的：熱電技術の将来を担う、優秀な研究を行っている大学院博士課程後期及び博士課程前期及び修士課程在学中の学生に対し、第 36 回熱電国際会議（ICT2017）参加費用の一部を助成することで、本会議での研究発表を促し、若手研究者の育成に寄与することを目的とする。
2. 応募資格：2016 年度以前に日本熱電学会会員であり、かつ ICT2017 開催時において同学会学生会員であり、熱電変換技術に関する研究で優れた成果、発表を行う個人。  
ICT2017 で筆頭著者として登壇またはポスター発表の責任説明を行う個人。  
但し、以下に該当する者は助成対象者から除外する。
  - 1)助成決定後、大学院を卒業、中退または進学辞退した場合。
  - 2)本学会参加に関する他の助成を獲得し、本助成金との合計額が学会参加に必要な経費（交通費、宿泊費、日当、学会参加費）の合計額を上回る場合。
  - 3)研究不正など、助成が不適切と当該委員会が認めた場合。

助成金は ICT2017 参加を確認した後、近日中に振り込み。（確認とは例えば航空券代金や学会参加費の支払い証明書の提示を求める。）

なお、以前の ICT 助成事業で採択経験のある応募者は、以前の応募と異なる、研究の新しさを明確にすること。
3. 応募制：自薦、他薦。  
応募にあたっては、①履歴書、②ICT2017 に投稿したアブストラクト、③当該研究における応募者の貢献度、④熱電変換に関する論文別刷り等の参考資料と発表リスト、⑤担当教員等からの推薦書 1 通、を同封すること。  
なお、提出していただいた書類は、審査の用途に限り使用されます。漏洩することのないよう厳重に管理され、選考を担当する委員のみに参照を許可します。なお、書類等は返却いたしません。選考終了後は、適切に廃棄致します。  
送り先：〒305-0044 つくば市並木 1-1 物質・材料研究機構 森孝雄（ICT2017 助成委員会委員長）。
4. 助成人数、金額：若干名（最多 4 名）、一人当たり 9 万円。
5. 審査方法：ICT2017 に投稿したアブストラクト、これまでの研究成果、研究に対する貢献度などから総合的に審査する。
6. 審査基準：熱電変換技術の発展において学術面、実用面を問わず重要で斬新、かつ応募者が主体として研究を行った学生に助成を行う。同一指導教員に対し、同一年度における助成対象者は最大二名までとする。

7. 審査手順: 受理した資料を複数の審査委員により審査、採点し、助成候補者を決定する。  
ICT2017 助成委員会は助成候補者の中から助成対象者を決定する。  
公募締め切りは 2017 年 4 月 4 日とし、2017 年 5 月中旬までに助成対象者を正式発表する。